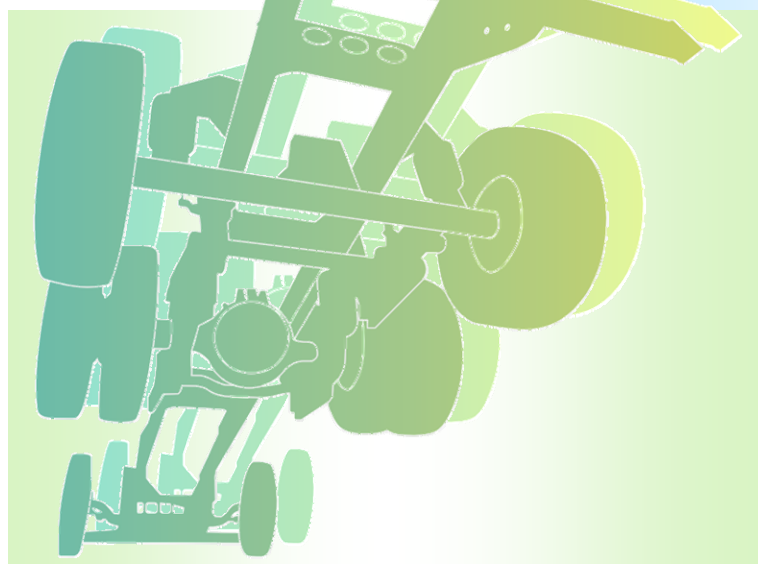
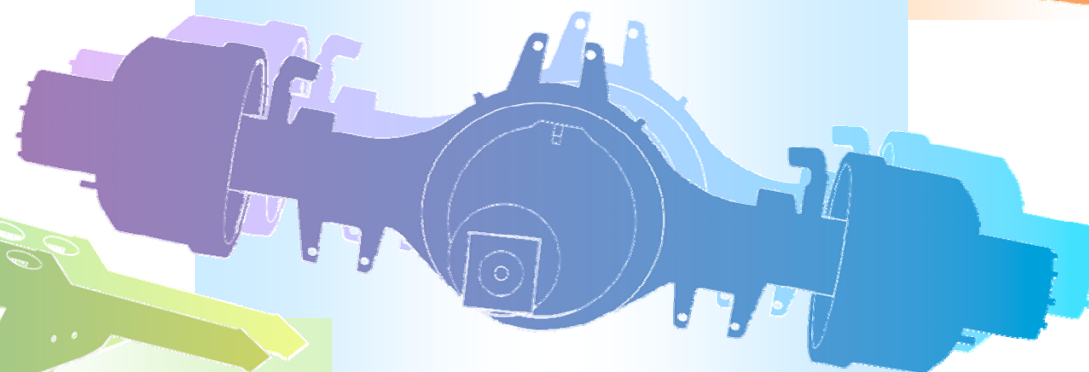


2011年度(12.3期) 第2四半期累計決算説明会



グループで“築く信頼、確かな成長”

<ビジョン> “コア商品の専門企業へ”

【コア商品の世界NO.1の実現】

2011年11月10日
プレス工業株式会社

説明内容

I. 2011年度(12.3期)2Q累計業績の概要

II. 2011年度(12.3期)事業環境について

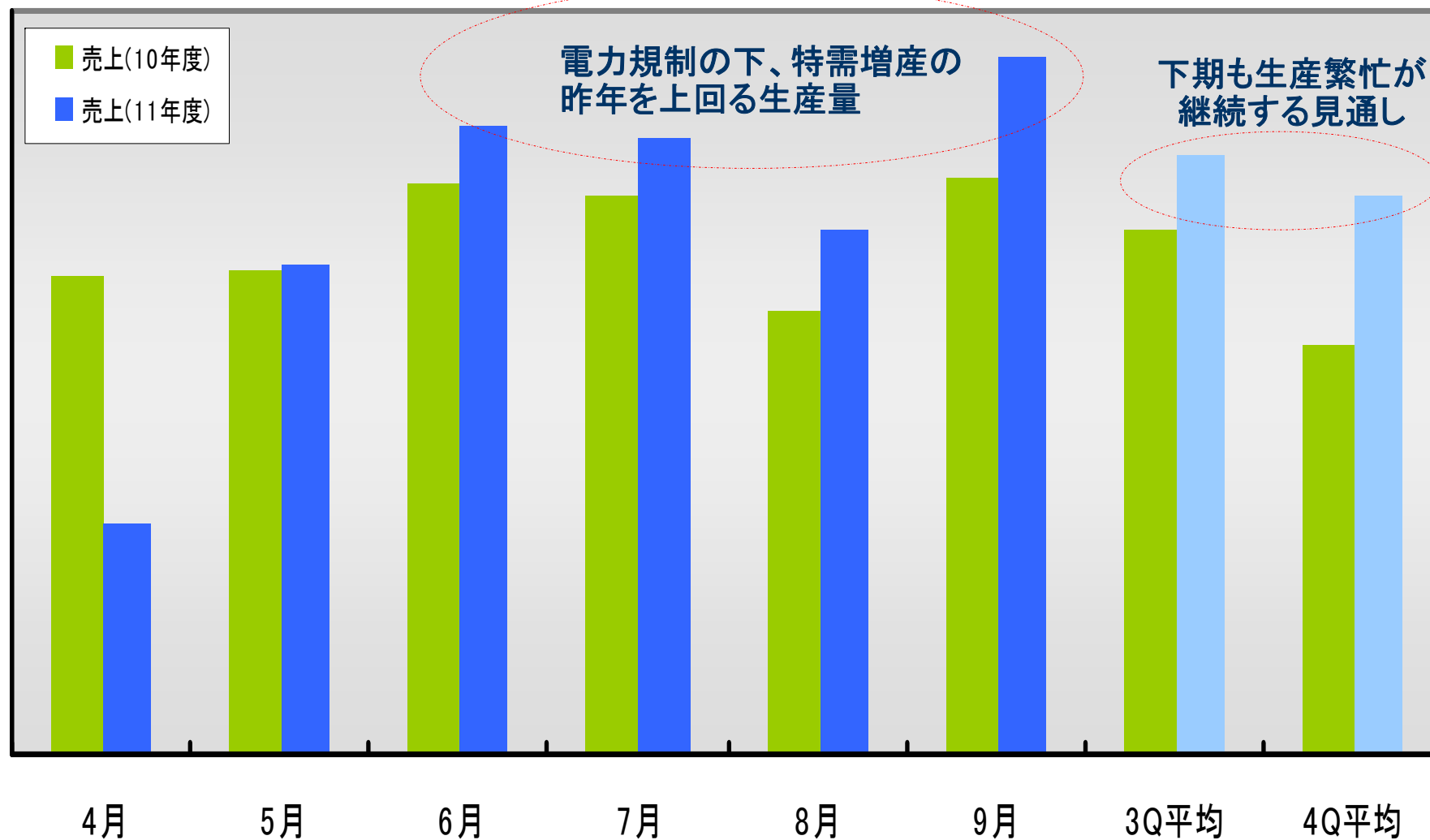
【説明者】 代表取締役社長 真柄 秀一

I . 2011年度(12.3期)2Q累計業績の概要

2011年度(12.3期)2Q累計期間の主な事業活動

全体	震災休業と生産回復	震災は欧州拠点以外の全拠点に影響を及ぼしたが、生産活動は想定より早く回復、生産が繁忙した。
	夏季電力規制 ▲15% と増産対応	①柔軟な生産体制による、電力規制及び増産への対応 (土日稼働/追加稼働/夜勤/フレックス勤務) ②代替電力の調達と徹底した節電の実施
単独	生産性向上活動推進	NVC活動、省人・合理化、付加価値極大化
	協和製作所	増産への確実な対応、建機キャブ事業拡販、合理化活動の推進
関係会社	タイ	震災からの生産回復による増産対応、新規モデル順次立上げ準備
	米国	生産性向上活動の推進と収益体質の改善、新規受注品の生産準備
	中国	新会社立上げ準備、現調化・生産性向上活動、拡販活動の推進
	欧州	新規受注部品の立上げ準備、合理化活動・拡販活動の推進

生産状況について(単独)



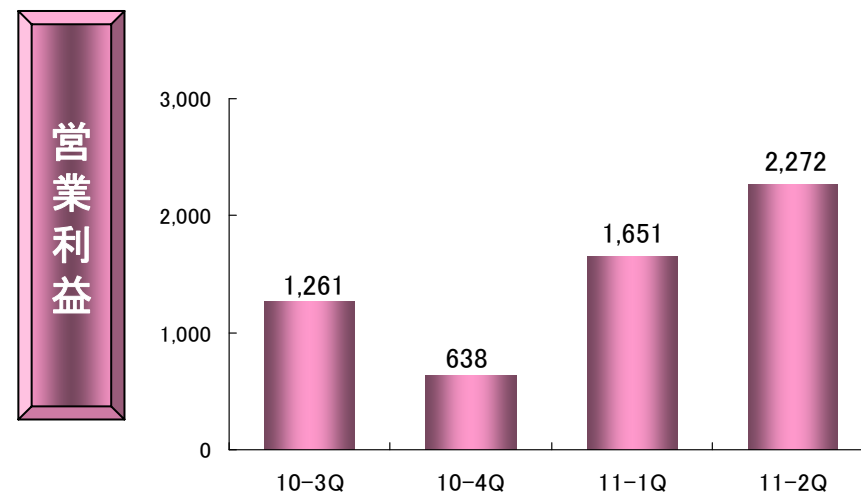
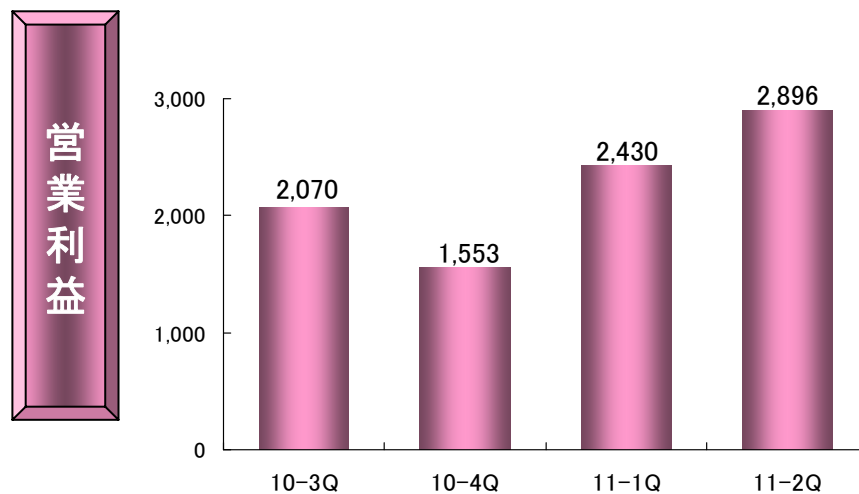
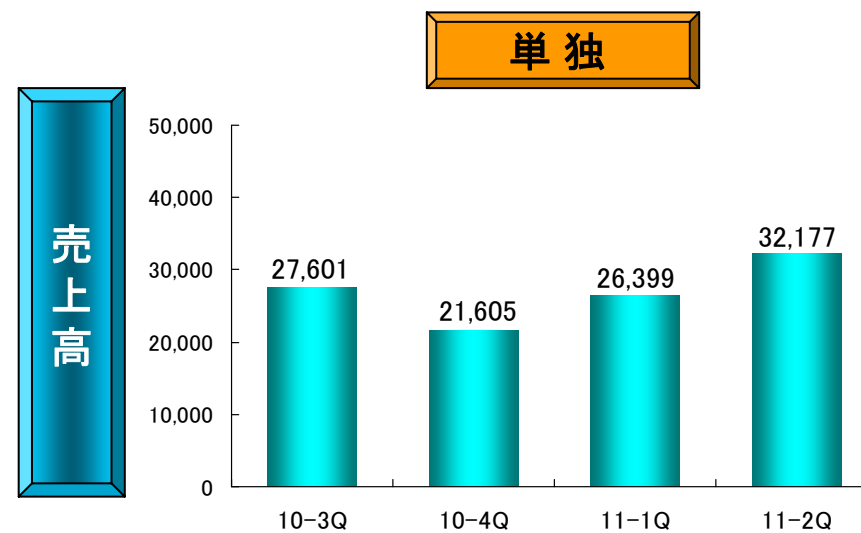
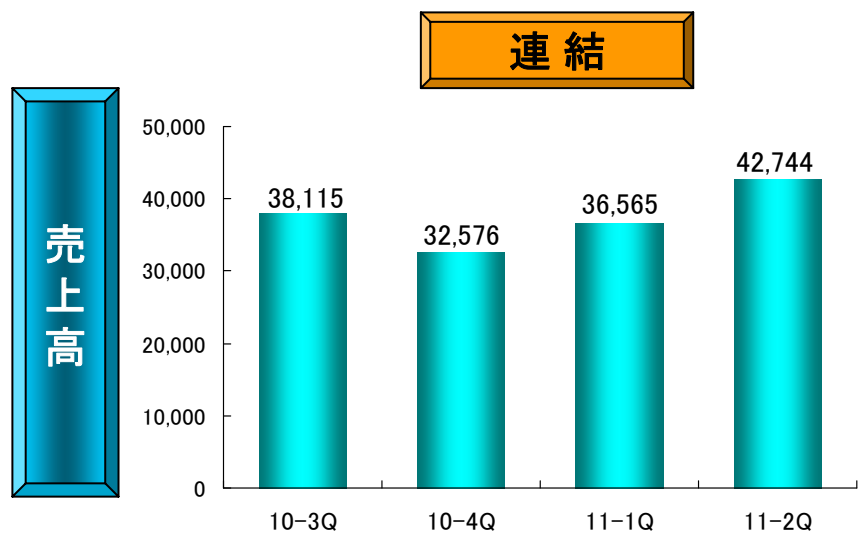
夏季電力▲15%削減への対応

夏季電力デマンド規制△15%に対し、下記方策を実施して対応。

1. 柔軟な生産体制	客先夏季生産体制に連動して、柔軟な生産体制を組んで対応。 → 木金休業・週末操業、夜勤操業 など
2. 代替電力の調達	エンジンコンプレッサー・発電機の併用
3. 省エネ活動の推進	①照明削減(間引き)・日中消灯など ②OA機器類の台数削減、待機電力の削減 ③クールビスの早期実施

連・単業績推移

金額単位:百万円



2011年度(12.3期)2Q累計業績

金額単位:百万円

- 5月より生産が回復、ほぼ計画通りに推移。
- 繰延税金資産計上(689百万円)。

		2010年度 2Q累	2011年度 2Q累	前年度比	増減率	業績予想 修正
連結	売上高	76,426	79,309	+2,883	+3.8%	79,300
	営業利益	5,513	5,325	△188	△3.4%	5,300
	経常利益	5,340	5,206	△134	△2.5%	5,200
	当期純利益	2,828	3,057	+229	+8.1%	3,050
単独	売上高	54,503	58,576	+4,073	+7.5%	58,500
	営業利益	3,213	3,923	+710	+22.1%	3,900
	経常利益	3,722	5,301	+1,579	+42.4%	5,300
	当期純利益	2,457	3,756	+1,299	+52.9%	3,750
中間配当金		1株0.0円	1株4.0円			1株4.0円

2011年度(12.3期)2Q累計 製品別売上高

金額単位:百万円

	2010年度 2Q累		2011年度 2Q累		増減	増減率
		構成比		構成比		
大型商用車用部品	28,768	37.6%	29,076	36.7%	+308	+1.1%
小型車用部品	25,669	33.6%	25,195	31.8%	△474	△1.8%
建設機械用部品	14,299	18.7%	18,039	22.7%	+3,740	+26.2%
完成車組立	4,206	5.5%	3,981	5.0%	△225	△5.3%
その他	3,484	4.6%	3,016	3.8%	△468	△13.4%
合計	76,426	-	79,309	-	+2,883	+3.8%

2011年度(12.3期)2Q累計 地域別売上高

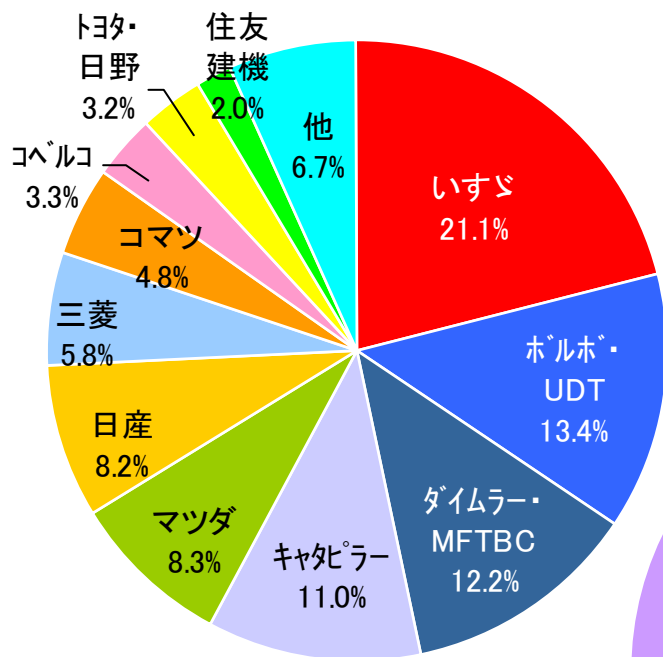
金額単位:百万円

	2010年度2Q累	2011年度2Q累	増減	増減率
単 独	54,503	58,576	+4,073	+7.5%
国内関係会社	10,902	12,170	+1,268	+11.6%
タイ	10,614	10,832	+218	+2.1%
中国	3,365	4,212	+847	+25.2%
米国	3,789	3,794	+5	+0.1%
欧州	1,238	1,996	+758	+61.2%
調整	△7,985	△12,271	△4,286	-
合 計	76,426	79,309	+2,883	+3.8%

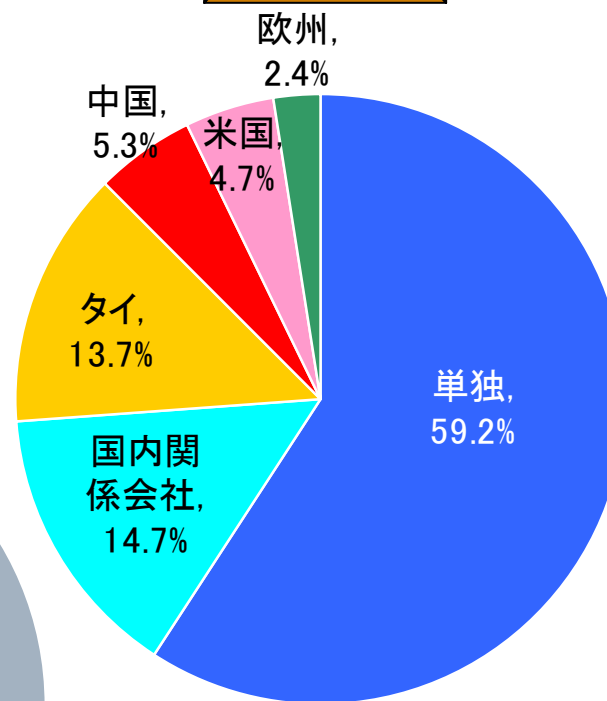
2011年度(12.3期)2Q累計 セグメント情報

連結売上高 79,309百万円

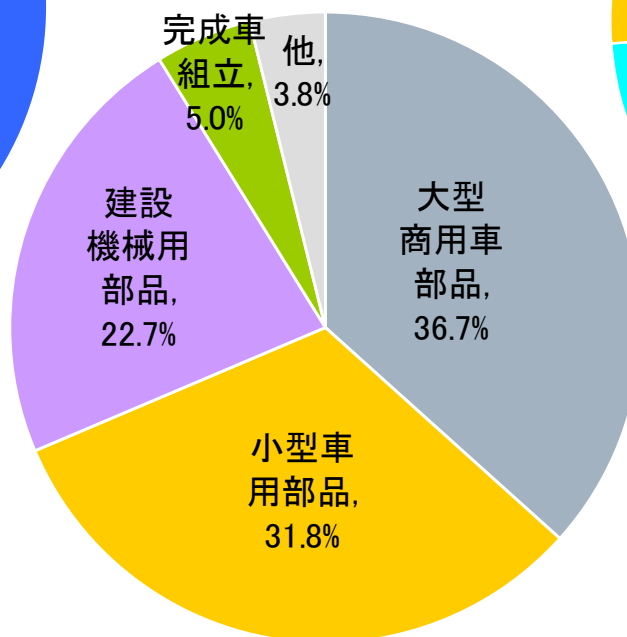
顧客別



地域別



製品別



2011年度(12.3期)2Q累計 経常利益・当期純利益

金額単位:百万円

		2010年度 2Q累計	2011年度 2Q累計	前年度比	
				増減	増減率
連結	売上高	76,426	79,309	+2,883	+4%
	営業利益	5,513	5,325	△188	△3%
	営業外損益	△172	△119	+53	△31%
	経常利益	5,340	5,206	△134	△3%
	特別損益	△665	△351	+314	△47%
	当期純利益	2,828	3,057	+229	+8%
単独	売上高	54,503	58,576	+4,073	+7%
	営業利益	3,213	3,923	+710	+22%
	営業外損益	509	1,378	+869	+171%
	経常利益	3,722	5,301	+1,579	+42%
	特別損益	△564	△329	+235	△42%
	当期純利益	2,457	3,756	+1,299	+53%

Ⅱ. 2011年度(12.3期)事業環境について

2011年度(12.3期)業績予想

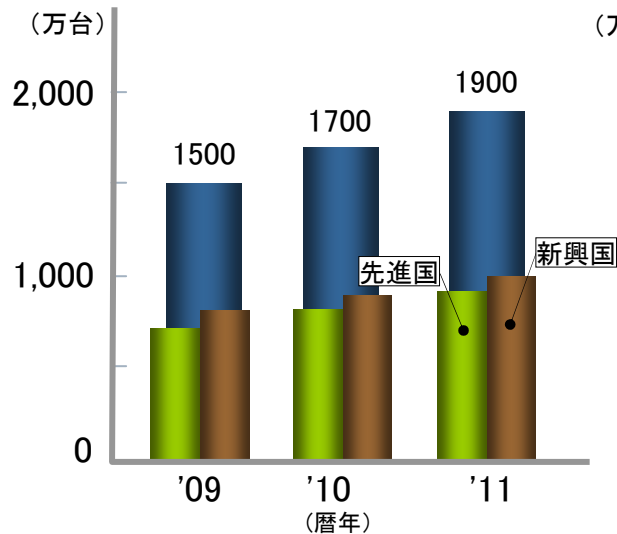
金額単位:百万円

		2010年度実績	2011年度予想		増減
			2Q累計実績		
連結	売上高	147,117	79,309	168,000	+20,883
	営業利益	9,136	5,325	12,000	+2,864
	経常利益	8,680	5,206	11,500	+2,820
	当期純利益	6,057	3,057	5,750	△307
単独	売上高	103,709	58,576	117,500	+13,791
	営業利益	5,112	3,923	7,500	+2,388
	経常利益	5,414	5,301	9,000	+3,586
	当期純利益	4,979	3,756	5,500	+521
年間配当金		1株4.0円	1株4.0円	1株8.0円	

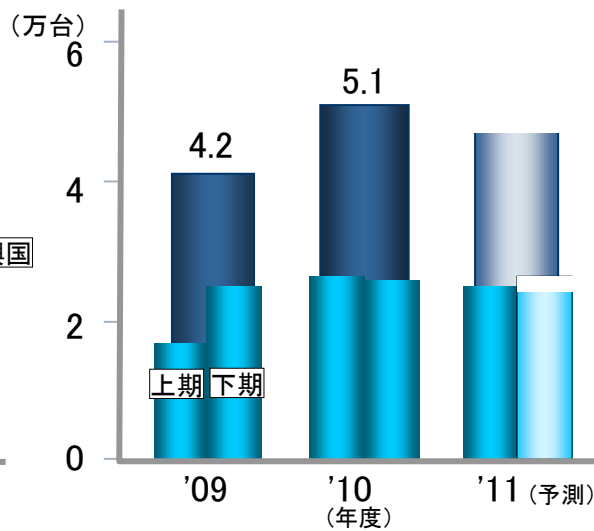
事業環境認識：トラック業界見通し

- 世界需要は増加基調。
- 国内についても復興需要により堅調に推移する見通し。
- 輸出は足下堅調に推移しているも、円高等による輸出への影響が懸念材料。
- タイ大洪水により、タイ国内工場の生産停止の他、タイ国外へのサプライチェーンへの影響が懸念される。

世界需要規模
(全商用車)

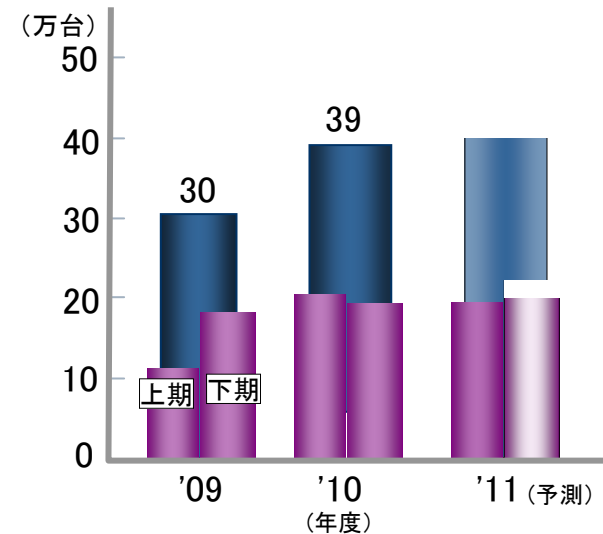


国内需要
(普通トラック)



輸出
(普トラ+小トラ*)

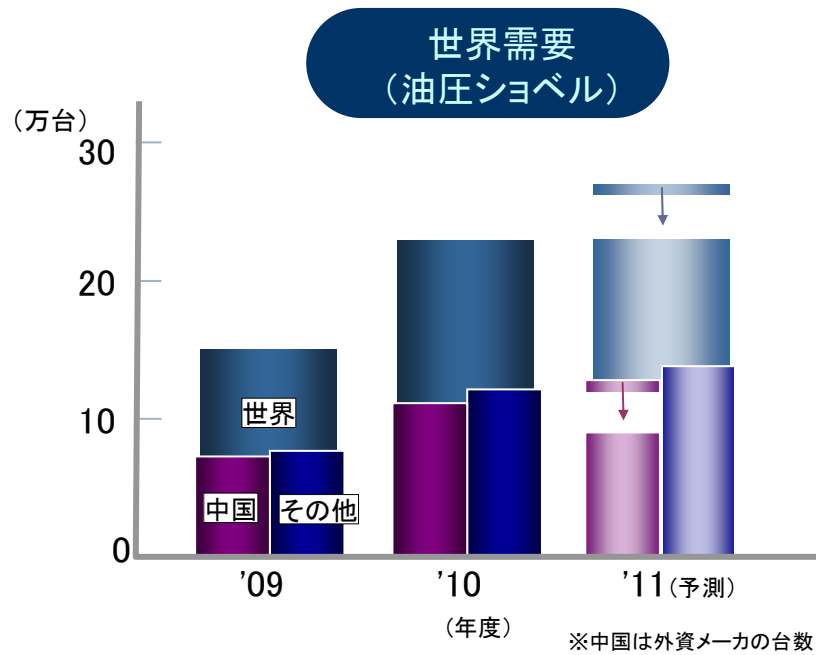
*バンタイプを含む



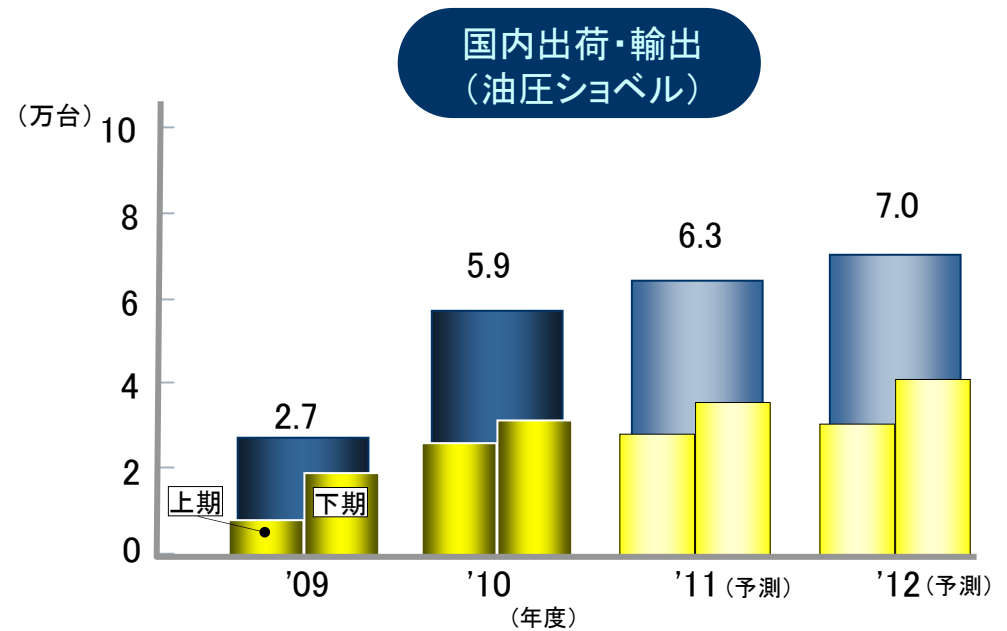
(出所: 業界記事を基にプレス工業作成)

事業環境認識：建機業界見通し

- 建機の世界市場は中国を除き堅調に推移。
- 中国は金融引き締めの影響により需要減、需要回復は来春以降と予想。
- 日本は震災復興による油圧ショベル需要が増加。



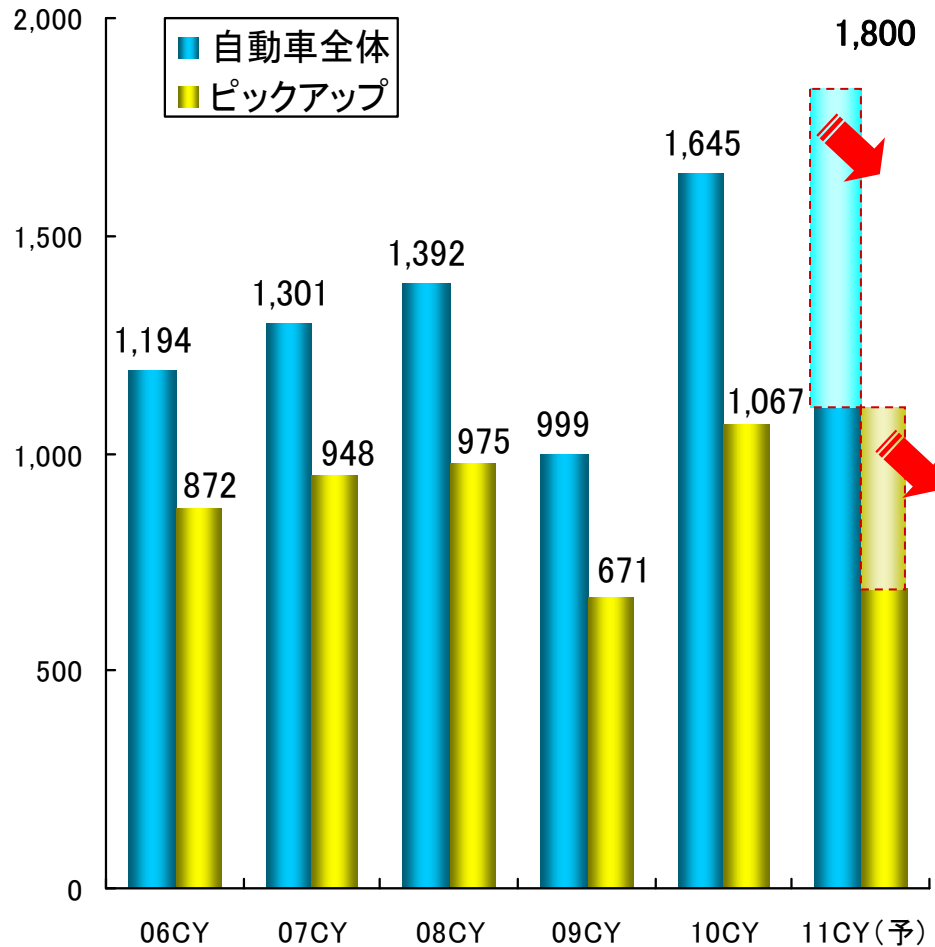
(出所：業界記事を基にプレス工業作成)



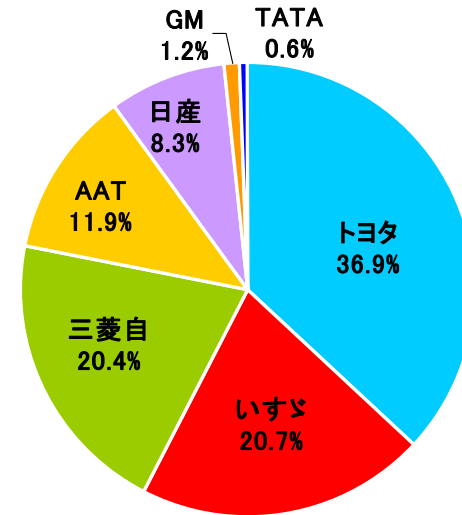
(出所：業界記事を基にプレス工業作成)

【タイ】市場動向

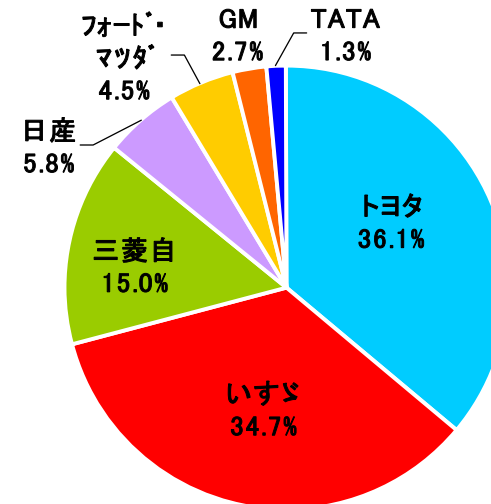
【自動車・ピックアップ生産推移(千台)】



【メーカー別ピックアップ生産比率(11/1-8実績)】



【メーカー別ピックアップ販売比率(11/1-8実績)】



【タイ】取り組み状況について

タイ工業団地

タイ全体図



(出所: 外務省及びタイ工業団地公社資料よりプレス工業作成)

大洪水による影響について

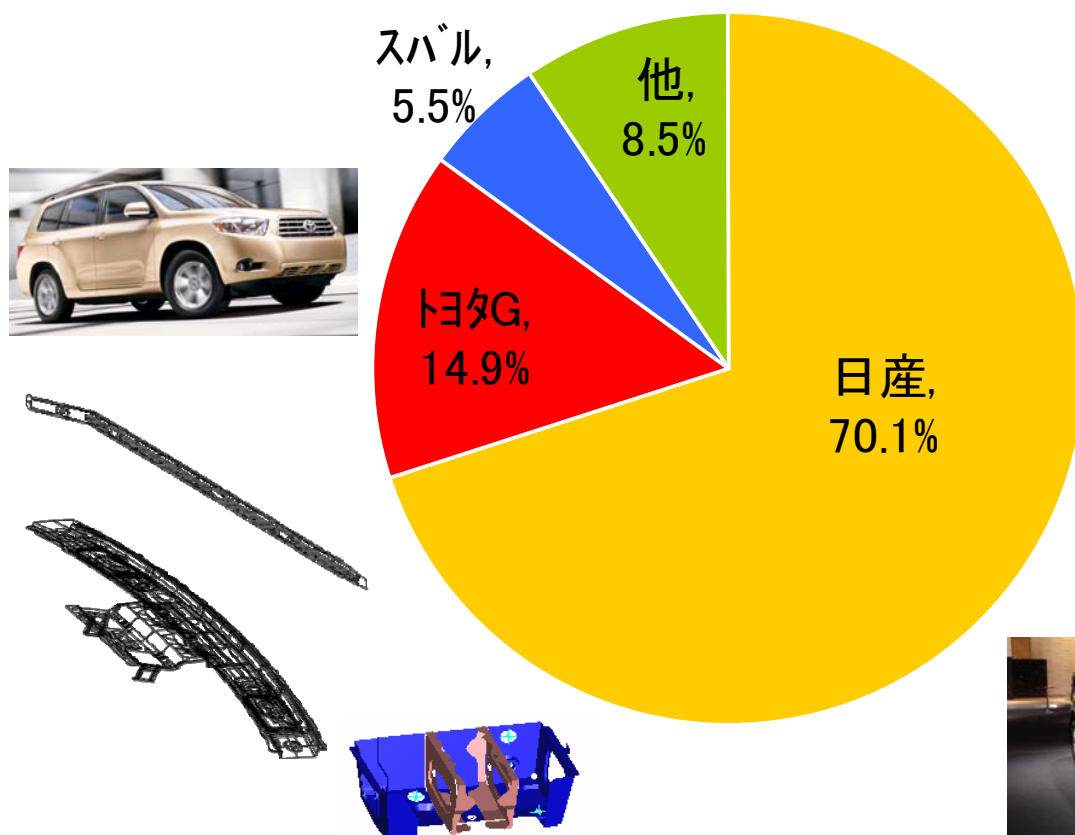
- 人的被害 及び 浸水などの被害は発生していません。
- 客先サプライチェーン被害により、全工場が生産休業となりましたが、11月7日より一部の生産を再開いたしました。

取り組み状況について

- ライン改善・新規ライン玉成を実施中。
- 生産再開及び復興需要に向けた準備。
- 新規モデル立上げ(順次)
→量産安定化への初期管理の徹底。

【米国】事業環境と取組み状況

客先別売上構成(%)



【事業環境】

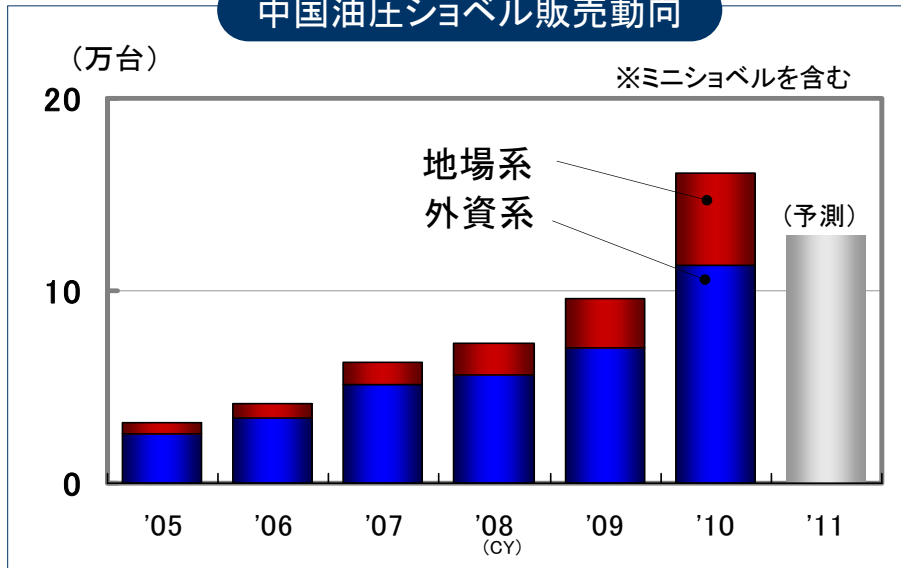
- 経済回復の遅れから、2011年の自動車生産台数予想は12.6百万台に下方修正された。震災影響を引きずり、日系メーカーの販売は苦戦。

【主要実施項目】

- 拡販活動の推進
- 新規受注部品立上げ準備

【中国】 事業環境と取組み状況

中国油圧ショベル販売動向



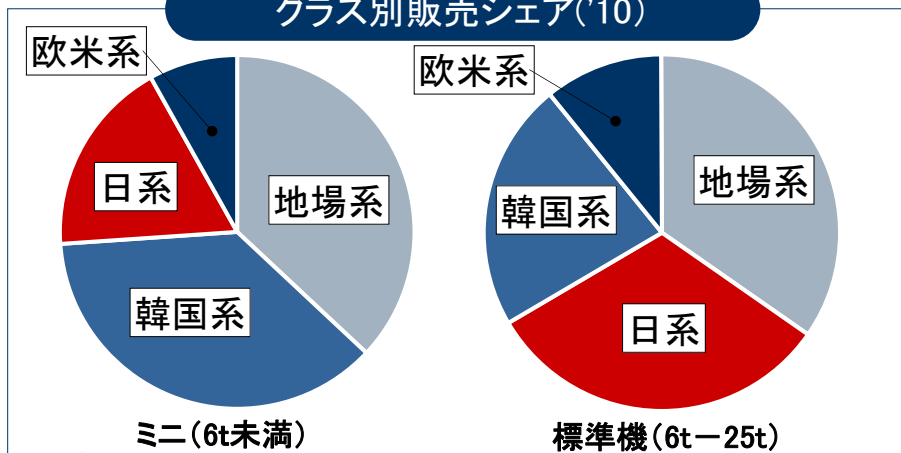
【事業環境】

- 金融引き締めにより、需要は11/5月以降減速した。
- 12年春以降、需要は徐々に回復し、中長期的にも堅調な成長が見込まれると予想。

【主要実施項目】

- 新工場立ち上げ
- 現調化の促進、拡販活動の推進

クラス別販売シェア('10)



PMキャビン



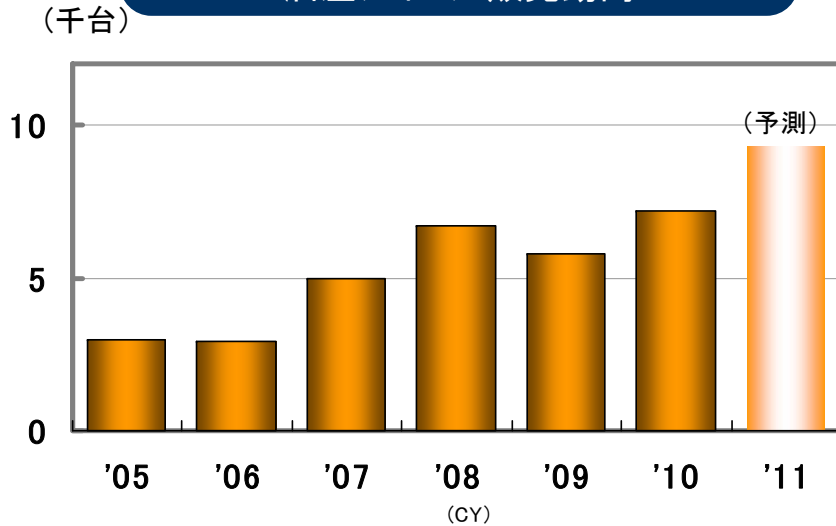
PKM ('11/11月新工場稼働予定)



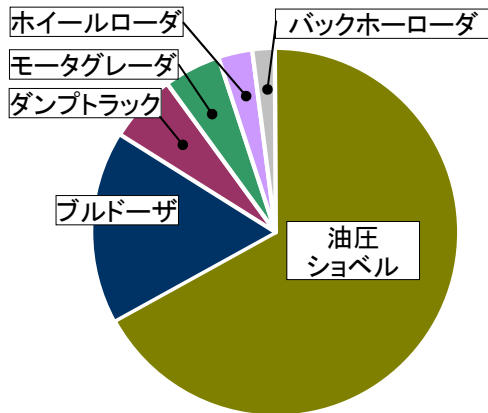
PK Mini Cabin ('13/2月新工場稼働予定)

【インドネシア】事業環境（建機）と取組み状況

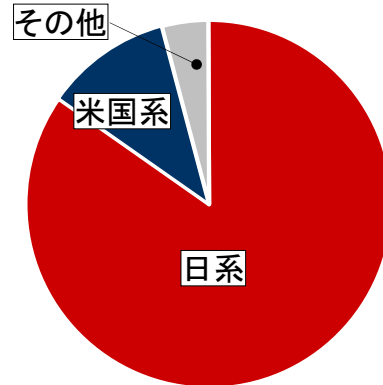
油圧ショベル販売動向



機種別シェア
(2008年)



油圧ショベル販売シェア
(2010年)



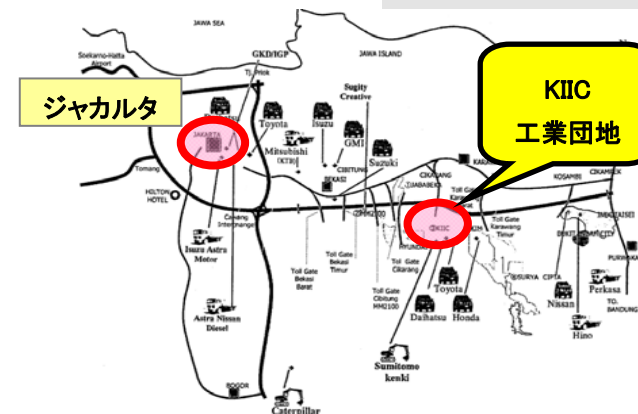
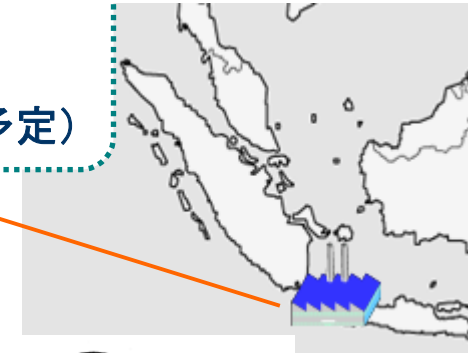
【事業環境】

■ 内需拡大及び輸出拠点として、成長市場の位置付け。

【主要実施項目】

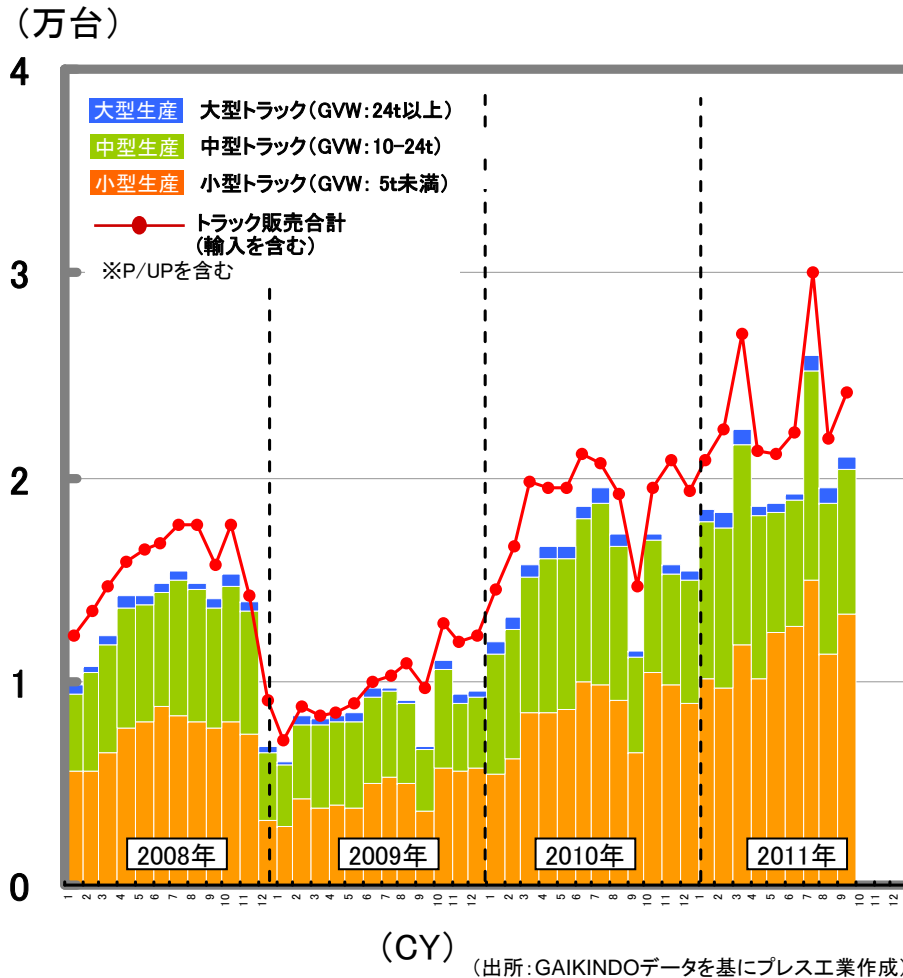
- 新工場立ち上げ、建機事業のアセアン拠点。
- 拡販活動の推進

PKM-Indonesia
('11/8月会社設立)
('12/9月新工場稼働予定)



【インドネシア】事業環境(トラック)

インドネシア トラック生産動向

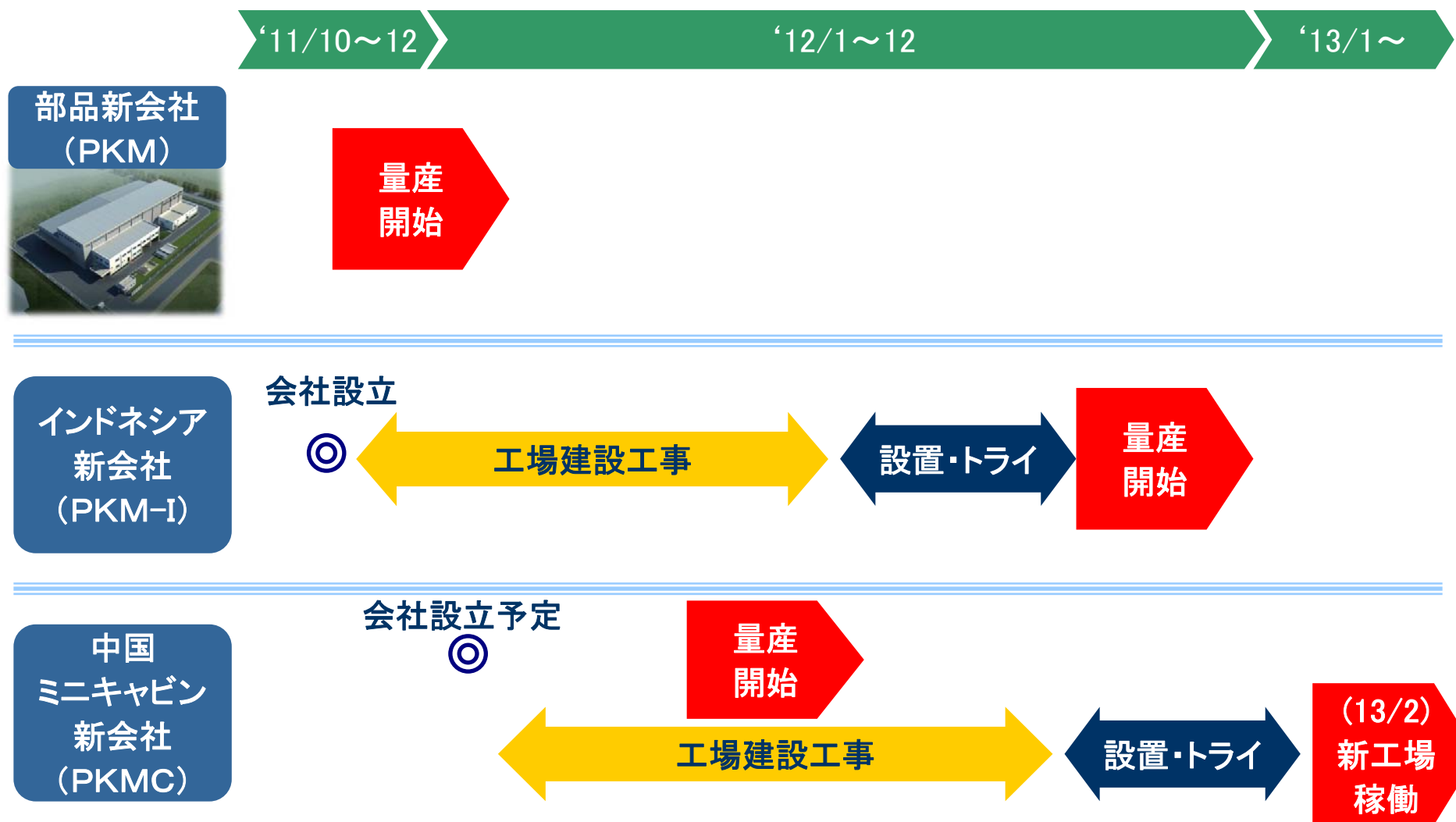


インドネシアのトラック生産工場拠点

ジャワ島西部(ジャカルタ近郊拡大図)



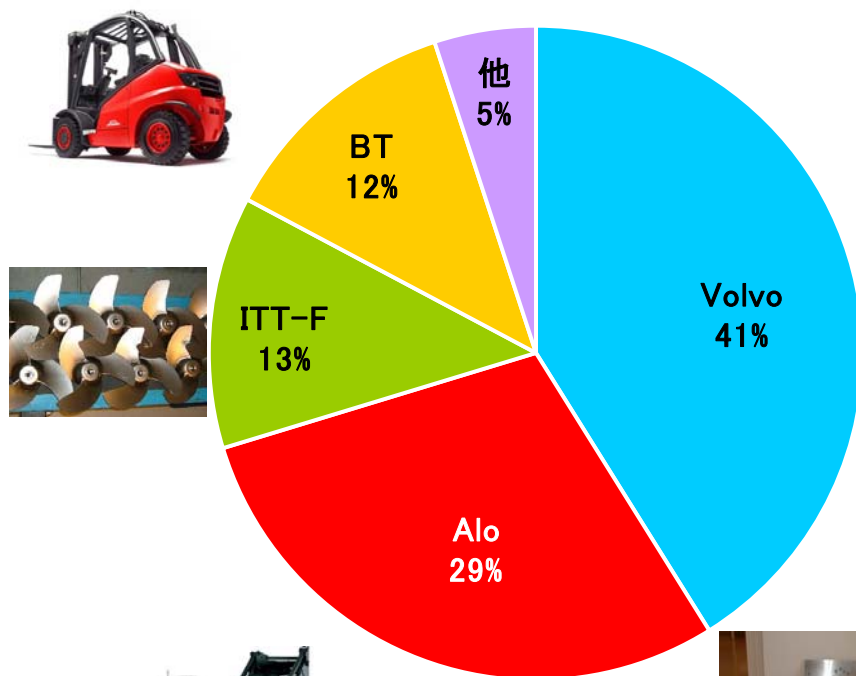
新会社 立上げ準備状況



【欧州(PPI)】事業環境と取組み状況

金額単位:百万円

客先別売上構成(%)

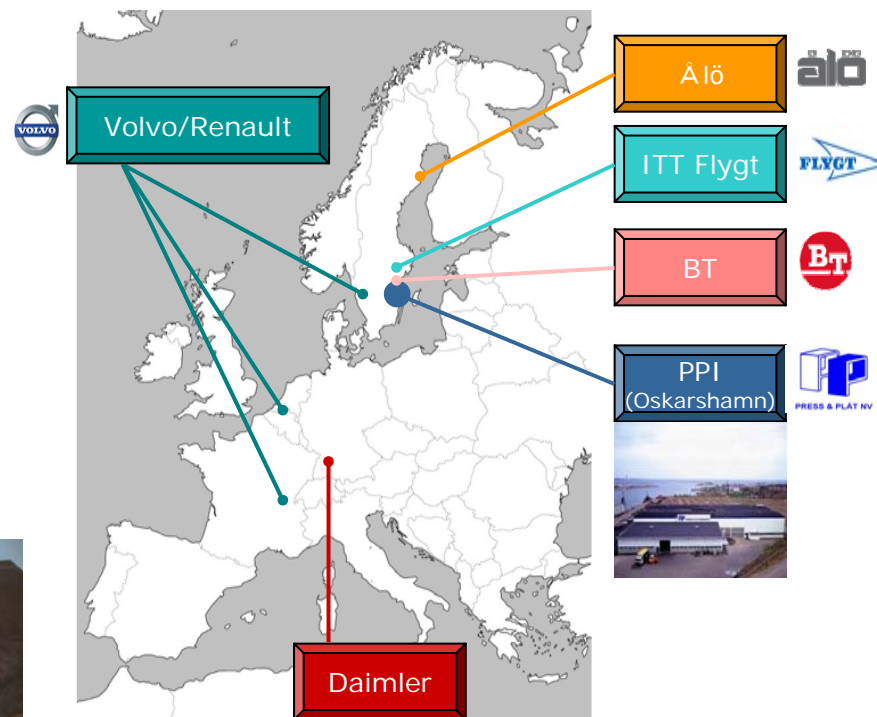


【事業環境】

- 欧州市場は不透明感あるも、輸出を中心に生産活動は堅調に推移する見通し。

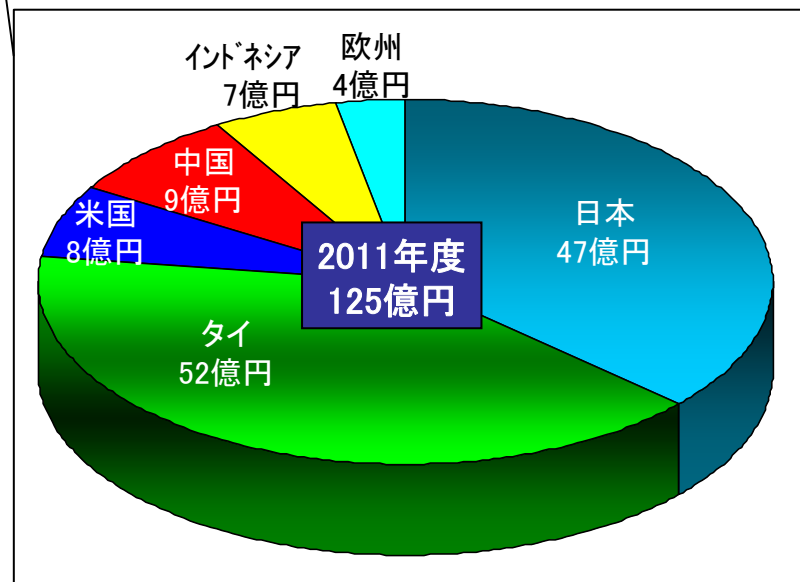
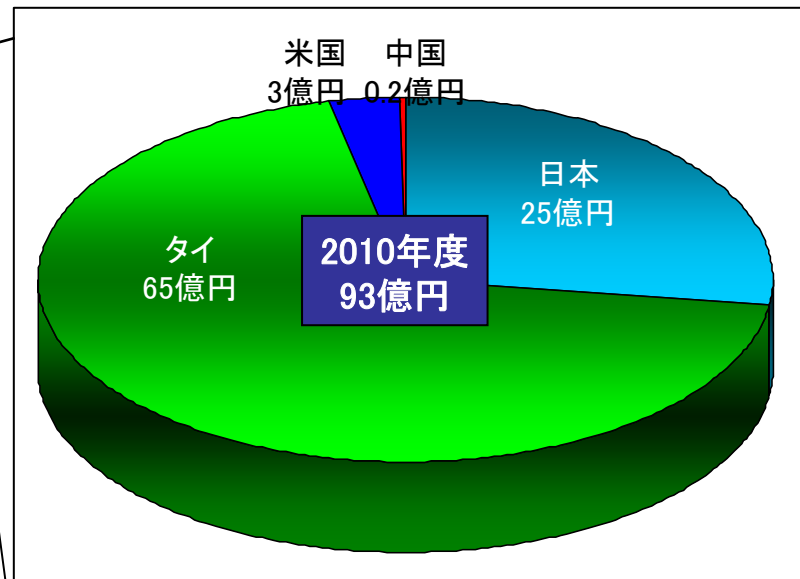
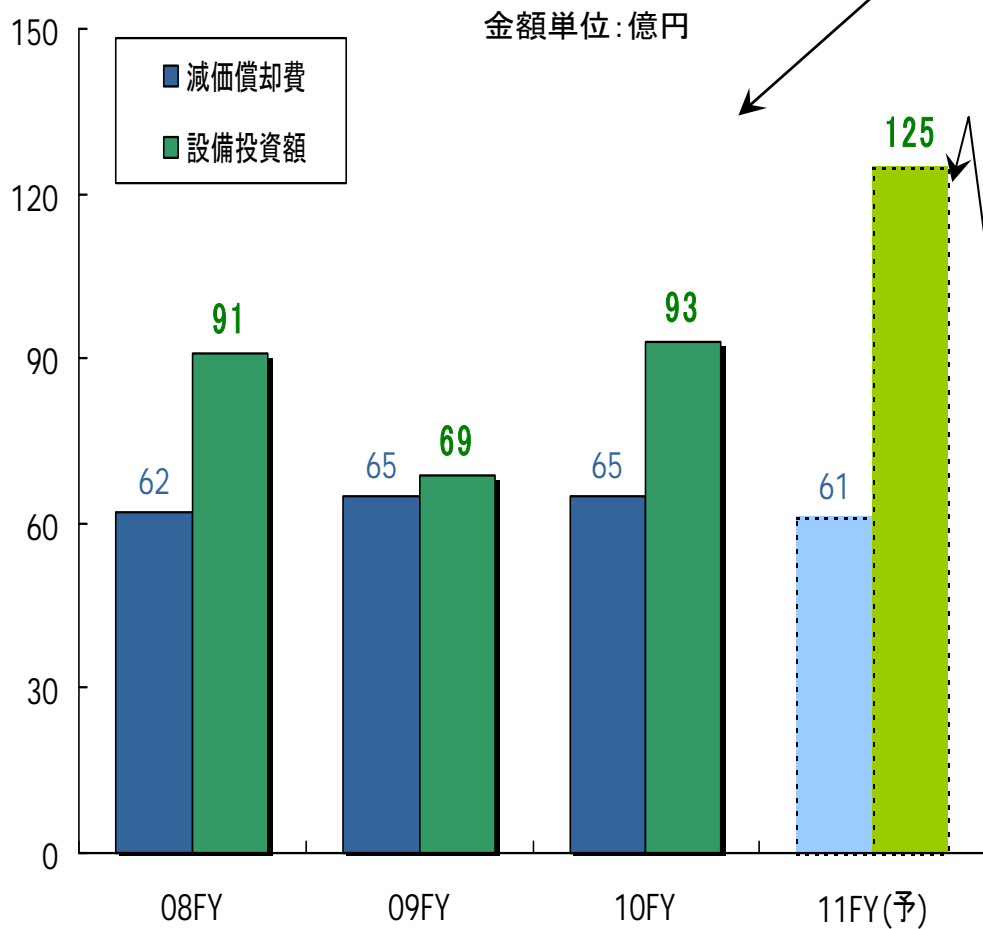
【主要実施項目】

- 新規受注・付加価値拡大の拡販活動
- 省人化・物流改善等の合理化活動



設備投資額・減価償却費

設備投資と減価償却費



財務状況(1) キャッシュフロー

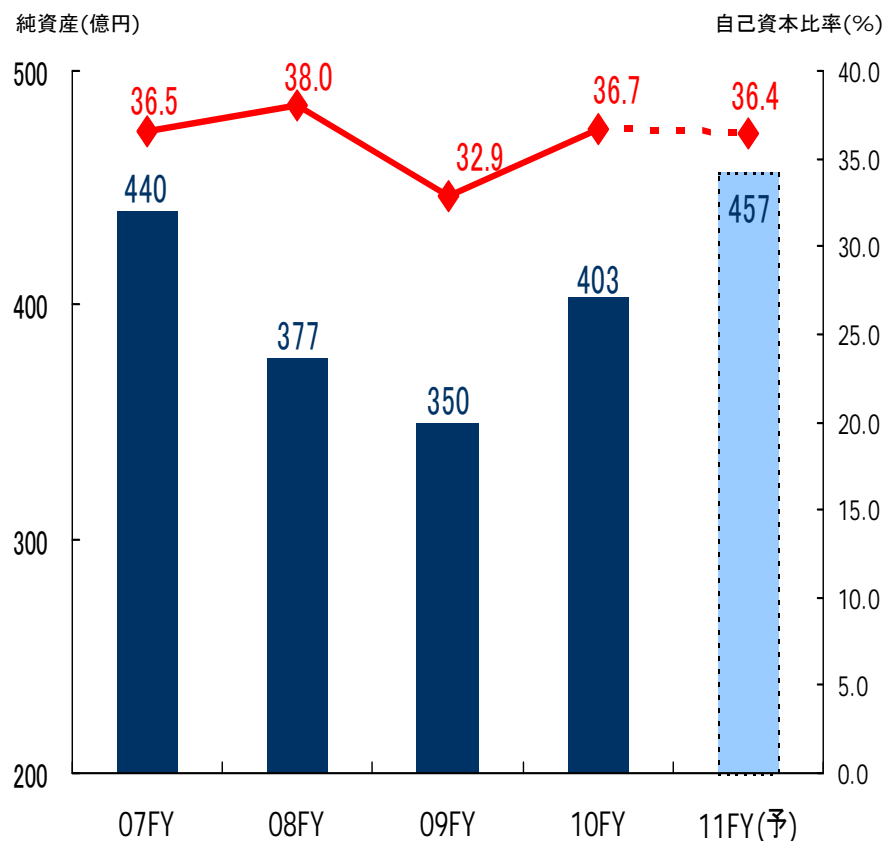
金額単位:億円

	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 予測
期首現預金残高	96	104	112
税前利益	-23	75	111
減価償却費	65	65	61
その他	-12	21	-74
営業CF	29	161	98
投資CF	-69	-97	-136
フリーCF	-40	64	-38
財務CF	48	-56	5
CF合計	8	8	-32
期末現預金残高	104	112	80

財務状況(2) 純資産とネット有利子負債

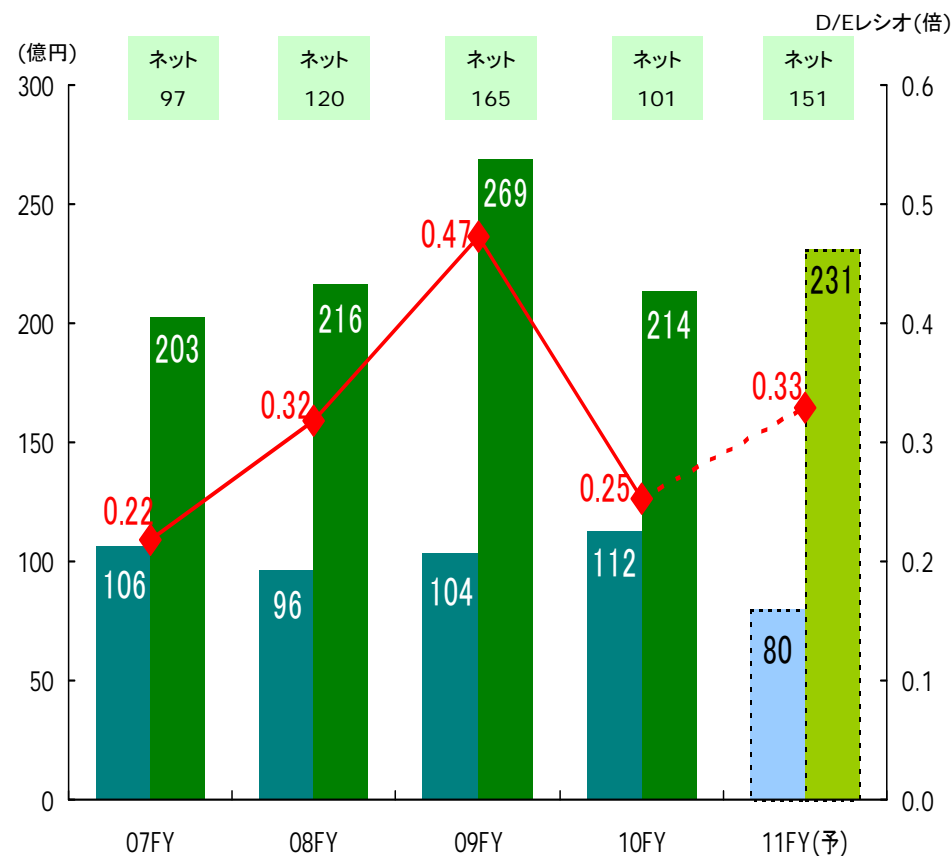
金額単位:億円

純資産



■ 純資産 ◆ 自己資本比率

ネット有利子負債



■ 現預金 ■ ネット有利子負債 ◆ ネットD/ELレシオ

※ 純資産は、少数株主持分を除いて表示しております。

メッセージ

- 国内生産は下期も繁忙状況が続く見通し、柔軟な生産体制を維持し、お客様への供給責任を全うしてまいります。
- タイ大洪水発生による生産停止・中国金融引き締め影響・円高リスクなど不透明な事業環境にありますが、今後の状況を見極めながら柔軟且つ迅速に対応してまいります。
- 当社のものでづくり力を基盤に、生産性向上活動を更に押し進めるとともに、海外新工場を確実に立上げ、更なる成長への事業展開を着実に推進してまいります。
- グループ一丸となってお客様の満足度世界No1を目指してまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

インフォメーション



<http://www.presskogyo.co.jp/>



<http://www.presskogyo.co.jp/ir/>

当社は、ホームページを重要な情報発信源の一つと認識しており、特にIR活動の一環として、適時IR情報を掲載することで、投資家の方々に対して公平な情報開示を行ってまいります。

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測しうる範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみならず、ご判断されることはくれぐれもお控えになられますようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。